

普及活動情勢報告（令和3年10月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

上手に植えられたかな？

・・・宿毛4Hクラブジャガイモ定植・・・



9月21日、宿毛市二ノ宮のほ場で、宿毛4Hクラブが二宮保育園の園児20名を招待し、ジャガイモの定植作業を行いました。この取り組みは、食農教育の一環として、園児に農作業を体験させ、食の大切さを学んでもらうために毎年行っています。クラブ員が講師となり、植え穴の掘り方や土の被せ方、定植時の注意点などを丁寧に教えながら、園児と一緒に定植を行いました。農業改良普及課は、定植に向けた土壌の分析・施肥設計、定植の手伝いなどの支援を行いました。今後も、食農教育を通して子供たちが農業を学ぶ場を作るように、宿毛4Hクラブの活動を支援していきます。

ドローンに集落営農の未来を乗せて！

・・・ユズドローン防除実演会・・・



9月21日、四万十市奥屋内地区のユズ園でドローンによる防除試験が行われ、地元ユズ生産者ら7名が参加しました。午前中は、黒尊川営農組合役員による対照区の防除作業と、果樹試験場職員の支援で自動操縦のための測量を行い、午後は、農業改良普及課職員の操作によるドローン防除を行いました。小雨の中での実演でしたが、参加者はドローン防除を実際に見て、「こんなに早く簡単にできるのか」と感嘆していました。農業改良普及課は、スマート農業の啓発とドローン導入に向けた支援を行っていきます。

高品質な花きの生産を目指して！

・・・JA高知県大方支所花卉園芸部会

スターチス現地検討会・・・



10月13日、黒潮町南部地区でJA高知県大方支所花卉園芸部会のスターチス現地検討会を開催し、生産者、関係機関9名の参加がありました。農業改良普及課から生育調査の結果や、温度・灌水管理等について情報提供を行った後、生産者のほ場を巡回し、栽培状況を確認しました。生産者からは、病気の発生状況や防除方法等について質問がありました。農業改良普及課では、今後も巡回調査や現地検討会等の活動を通じて、花きの収量・品質の向上を目指していきます。

チェックシートで農作業の点検！

・・・西土佐米ナス部会現地検討会・・・



10月13日、四万十市西土佐地区で米ナス部会員15名が参加して、現地検討会を開催しました。

現地検討会では、作終盤の栽培管理方法について情報交換を行い、農業改良普及課は、高知県版GAPチェックシートの農薬散布に関わる項目を中心に点検を行いました。生産者からは「ここまで細かく確認してなかった」といった声が多く聞こえました。

今後は、栽培終了後にもう一度GAPの点検を行い、来年度重点的に取り組む内容を決めていく予定です。

知事に大月町の食材をPR！

・・・大月町姫ノ井集落活動センター「姫の里」・・・



10月13日、大月町姫ノ井集落活動センター「姫の里」において、「姫の里」のメンバーと関係機関16名が参加し、「再び、濱田が参りました」の昼食づくりと意見交換会に向けて協議しました。

地域支援企画員が、10月18日の現場視察及び座談会の流れを説明した後、農業改良普及課からは、前回のメニューやおもてなし方法について情報提供を行いました。

スタッフからは、カフェ姫の里の看板メニュー「チキン南蛮」を主体とし、大月町の食材を活用したメニューにしてはどうかとの意見がありました。

農業改良普及課は、今後も引き続き、カフェ運営や組織活動を支援していきます。